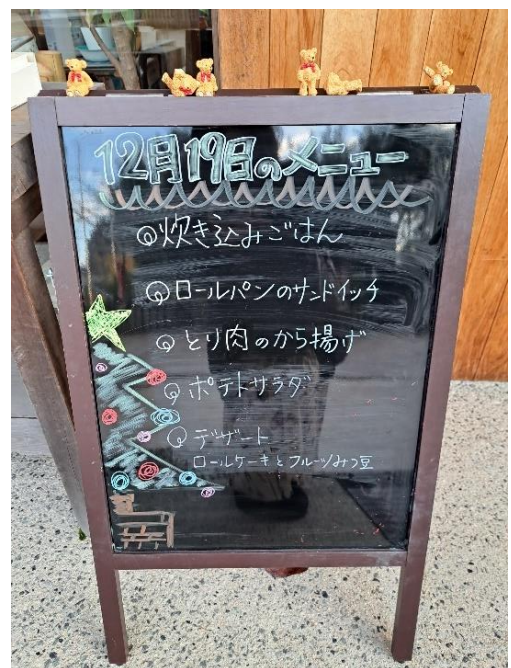


🌲 “「うつくしの杜」子ども食堂”の活動を見学しました 🍷



12月19日（木）、うつくしの杜「子ども食堂」の取り組みを見学するため、広島市中区の廣瀬神社に行ってきました。今回のイベントは、季節にちなんでクリスマス会！大人の私も、少しワクワクしながら、会場に足を運びました。



「子ども食堂」の会場は廣瀬神社の社務所です。

誰でも遊びに来やすいよう、


道路沿いの掲示板に、子ども食堂のスケジュールと、イベントのチラシが貼ってありました。



会場に入り、最初に感じたのは、うつくしの杜メンバーの皆さんの話し方が本当に優しいなあということと、子どもたちも心を開いた様子で、リラックスしているなあ、ということでした。

当日、子どもたちが「〇〇さん」とメンバーやボランティアの学生さんの名前を覚えているのに対し、メンバーさんの方がびっくりし「覚えてくれていたの！」と喜んでおられる様子を何度か見かけましたが、月1回の短い交流の中、名前を覚えてもらえるような関係が築けるのも、この「子ども食堂」が、結成時の目的の通り「子どもたちが一人からでも安心して快適に過ごせる居場所」となっているからこそではないかな、と思いました。



クリスマスのご馳走 



表には出てこられませんが、裏の厨房には、お料理や洗い物を担当されている沢山のメンバーさん、また、遊びの時間を盛り上げるため、様々な大学、専門学校の学生さんもお手伝いに来ておられました。

多くの方々が協力し、地域の子どもたちを支えておられるのだな、と改めて思いました。



クリスマスプレゼント

順番に、クリスマスの靴下に入ったくじを
引き、お菓子とおもちゃを選びます。



お食事タイム
心のこもったご馳走、
いただきます！

会の途中からも続々と、学校・部活帰り風の小中学生や、仕事・用事を終えた風のお母さんなどが集まって来られ、今や子ども食堂は、地域の皆さんが、ふらりと立ち寄れる場所、ちょっとした心の拠り所に進化しているのかもしれないと思いました。

誰かが来られる度、温かく「よう来たね～」と声をかけているメンバーの皆さんを見ていると、ご馳走もおもちゃもいいけれど、集まった皆さんが一番喜んでおられるのは、心の底からの「よう来たね～」なのではないかと思った活動見学でした。

この度は楽しいクリスマス会に参加させていただきありがとうございました！（竹岡）